
4 6 0 5 . 機用品戻し入れ情報登録

業務コード	業務名
C R E	機用品戻し入れ情報登録

1. 業務概要

「機用品搬出確認登録（COA）」業務により搬出された客室機用品の全量または一部の戻し入れを行う。
なお、本業務は税関による「機用品搭載確認登録（PAL）」業務が行われるまで可能である。

2. 入力者

機用品業

3. 制限事項

1 業務で入力可能な機用品品名コードは最大 100 件とする。

4. 入力条件

（1）入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②COA業務を行った利用者であること。

（2）入力項目チェック

（A）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（B）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（3）機用品搬出確認DBチェック

- ①入力された機用品搬出届受理番号に対する機用品搬出確認情報が存在すること。
- ②搭載確認が行われていないこと。
- ③全量戻し入れが行われていないこと。
- ④入力された受託航空会社と登録されている受託航空会社が同一であること。
- ⑤入力された搬出年月日と登録されている搬出年月日が同一であること。
- ⑥一部戻し入れの場合は、入力された機用品品名コードが存在すること。
- ⑦入力された戻し入れ個数が、登録されている搬出個数以下であること。

（4）機用品在庫DBチェック

- ①入力者が管理する保税蔵置場、入力された航空会社及び機用品品名コードに対する機用品在庫情報が存在すること。
- ②入力された戻し入れ個数以上搬出されていること。

5. 処理内容

（1）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（2）戻し入れ受理番号払い出し処理

当該保税蔵置場の管轄税関単位に戻し入れ受理番号を払い出す。

（3）機用品搬出確認DB処理

- ①入力された戻し入れ種別を設定する。
- ②一部戻し入れの場合は、搬出個数から戻し入れ個数を減算する。

(4) 機用品在庫DB処理

- ①現在総個数に戻し入れ個数を加算する。
- ②搬出個数から戻し入れ個数を減算する。
- ③現在個数に戻し入れ個数を加算する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
戻し入れ受理通知情報	なし	入力者